

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	公共下水道浸水対策事業			事業番号	16-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部下水道担当	石井 啓治	下水道整備課	佐野 晃	

計 画 (Plan)								
総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち				
		基本政策	4	災害に強い安全なまちづくり				
		施策展開の方向	7	災害から市民のいのちを守るまちをつくる				
		施策	16	被害を最小限に抑える減災対策の推進				
予算事業名		第2号公共下水道管渠整備事業費						
		第3号公共下水道管渠整備事業費						
事務区分〔選択〕	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		(選択してください)→	法令上の位置づけ	実施する規定はない			
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前 ~		終了年度	—			
関連法令等	—							
国・県の計画等	社会資本整備総合交付金			計画期間				
関連個別計画	社会資本総合整備計画 伊勢原便利で暮らしやすいまちの実現			計画期間	令和4年度～令和8年度			
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	近年の集中豪雨の多発や都市化の進展に伴い、短時間に大量の雨水が流出し、内水氾濫の被害が増大している。							
目 的 (何をどうしたいのか)	集中豪雨時の浸水被害の軽減をめざし、浸水被害が多発している地区において、浸水対策を推進します。							
主な対象 (誰・何を対象に)	内水氾濫の被害が頻繁に発生している2地区(板戸、矢羽根川流域地区)							
事業内容 (手段、手法など)	・浸水被害が発生している2地区(板戸地区、矢羽根川流域地区)について、浸水被害軽減対策を進めます。							
事業行程	項目	年度						
		令和3年度		令和4年度				
	板戸地区(板戸川第1排水区)	浸水対策工事		浸水対策工事				
	矢羽根川流域地区(矢羽根排水区)	基本設計		詳細設計				
目 標	【指標名】		年度					
		【現状値】	令和3年度		令和4年度			
	浸水対策整備済み地区数	4地区 (令和2年度)	4地区		5地区			



事業実施 (Do)

事業実施 (D o)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)		板戸地区については、第1-1幹線及び第1-3幹線の整備工事を実施していきます。また、矢羽根川流域地区については、第1-1幹線実施設計を実施していきます。 引続き、社会資本整備総合交付金の確保に向け、情報収集や要望活動を進めます。									
実施方法 〔選択・記入〕		☒ すべて直接実施 ☐ 左記以外									
		☐ 業務委託		☐ 指定管理		委託先又は指定管理者					
		☐ 補助金				補助先					
		☐ その他				具体内容					
実施結果		項目				年度					
						令和3年度			令和4年度		
		板戸地区(板戸川第1排水区)				浸水対策工事			浸水対策工事		
		矢羽根川流域地区(矢羽根排水区)				基本設計			詳細設計		
実施した取組の内容		板戸地区:雨水板戸第1-1幹線整備工事、雨水板戸第1-3幹線整備工事 矢羽根川流域地区:雨水矢羽根第1-1幹線実施設計業務									
目標の達成状況		【指標名】		【現状値】		年度					
						令和3年度		令和4年度			
		浸水対策整備済み地区数		4地区 (令和2年度)		4地区		4地区			
コスト	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計 (a)		17,710		千円		6,270		千円		
	内訳	国県支出金 ①	0		千円		0		千円		
		地方債 ②	17,600		千円		6,200		千円		
		その他特財 ③	0		千円		0		千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	110		千円		70		千円		
	国県支出金の内容										
	その他 特財の 内容	受益者負担	☐ 有 ☒ 無		前回の改定時期						
		その他									
	人件費	正規職員	0.56	人	4,581	千円	0.71	人	6,085	千円	
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	
		人件費合計 (b)	0.56	人	4,581	千円	0.71	人	6,085	千円	
	トータルコスト (a)+(b)		22,291		千円		12,355		千円		
	単位 当たり コスト	対象 数	定義	1地区工事/年		単位	1地区工事/年		単位		
			対象数	2		地区工事	2		地区工事		
		総事業費 ／対象数	11,145,500		円	6,177,500		円			

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	☐ 計画どおり (A) ☒ 概ね計画どおり (B) ☐ 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	板戸地区の雨水板戸川第1ー1幹線整備工事、雨水板戸川第1ー3幹線整備工事は繰り越し工事にて実施しております。また、矢羽根川流域地区については雨水矢羽根第1ー1幹線の詳細設計を実施し、整備に向けて計画どおり実施しております。進捗状況は計画5地区に対し実施4地区であることから概ね計画通りに進捗しています。
実施水準 〔選択・記入〕	☒ 他市より高い水準で実施 (A) ☐ 他市と同水準で実施 (B) ☐ 他市より低い水準で実施 (C) ☐ 一律に比較できない事業	A	他都市の事業内容等	各自治体で浸水被害が異なるため、一律に比較できません。
有効性 〔選択・記入〕	☒ 高い (A) ☐ 普通 (B) ☐ 低い (C)	A	左記判断理由	市民の安全安心を確保するための事業であり、目的を達成することで、浸水被害の軽減が見込まれるため有効性の高い事業です。
効率性 〔選択・記入〕	☒ 効率的に実施されている (A) ☐ 改善の余地がある (B) ☐ 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	対象地区の浸水発生原因や状況を把握し、計画的かつ効率的な整備を進めています。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	近年の異常気象による局所的な豪雨や土地利用の都市化により雨水の流出量が増加傾向にあり、そのため浸水被害範囲が拡大しています。市民の生命・財産を守るため、計画的な浸水被害軽減対策に向けて、被害箇所の状況を調査し、その現状に応じた対応を十分に検討し、速やかに対策を進める必要があります。